

服薬指導グループ



臨床で活躍できる薬剤師になるために

私たちはゼミ活動を通じて、より患者さんの立場から薬物治療について考えることが出来るようになりました。

フィールドワークでは、クリニックでの診察を実際に見学しました。医師の処方意図と考えるなど個々の患者に適した処方選択とその重要性について学びました。

医師と患者さんとのやり取りを見て、信頼関係を築くことの大切さを実感し、これから自分たちが薬剤師としての患者さんとどのように関わっていくべきかを考える良いきっかけとなりました。

卒業研究では服薬コンプライアンスに関する臨床研究に携わり、服薬指導内容が少なからず患者さんに心理的な影響を与えていることがわかり、薬剤師による服薬指導の重要性を確かめることができました。

これらの活動で得たことを卒業後に活かして薬剤師としてできることを自ら考え実践していきたいと思っています。

～活動の流れ～

2010. 2～5
フィールドワーク
(クリニックでの外来診察見学)



2010. 8
卒業研究テーマ決定



2010. 12～
卒業研究の
データ収集・解析